

2022 年 6 月 23 日

2022 年国家予算の組み替え ～資源高による windfall～

1. 22 日、2022 年国家予算の修正に関する法案が審議されました。修正の趣旨は、本年に入ってから石油・ガス収入増加など「肯定的な情勢変化」を踏まえたものとされています。

修正後の国家予算では、

歳入総額:292 億マナト(当初 268 億マナト、+8.9%)

歳出総額:323 億マナト(当初 299 億マナト、+8.1%)

歳出のうち、解放地域の復興開発事業費は、

26.7 億マナト(当初 22 億マナト、修正歳出総額の 8.3%)

原油(アゼリライト)の輸出価格は本年 1-5 月の平均で 1 バレル 106.3 ドルでした(当初予算基準油価 50 ドルの 2 倍強)。修正予算では価格見通しを保守的に見積もり、基準油価を 85 ドルに設定しています。

2. 最近の石油・ガスの輸出金額をみると、

石油:2021 年 132 億ドル、2022 年 1-4 月 65 億ドル(前年同期比 1.5 倍)

ガス:2021 年 55 億ドル、2022 年 1-4 月 42 億ドル(前年同期比 3.7 倍)

ガス輸出は近年顕著な伸びを示しており、「石油輸出金額と同等水準になるのは初めてのこと」(政府関係者)です。主力のシャーデニス・ガス田の増産、欧州向けパイプラインの全通に因るものと考えられ、近い将来にガス輸出が石油を凌ぐことになりそうです。

(以上)